

現行の京都市住宅マスタープラン における取組状況

令和2年1月31日（金）
第1回 京都市住宅審議会

現行の京都市住宅マスタープランの構成及び施策の方向

★平成28年3月の中間見直しにおいて「新規」「充実」した施策

施策の方向

施策推進のための横断的な視点

- 多様な主体との「共汗」、多様な分野・政策の「融合」を進める
- 市場の機能を生かす
- ストックの活用を重点的に進める
- 地域の多様な特性を生かす
- ★住情報の発信・提供機能を拡充する

住み継ぐ

京都らしい良質なすまいやまちを守り、育て、大切に手入れをしながら、すまい方や暮らし方とともに次代に引き継ぐ。

京都らしいすまい方の継承

- ★次世代の居住促進・子育て支援
- ★住教育・住育の推進
- ★住情報の一元化と効果的な発信
- ★京町家の保全・活用の推進 など

住宅ストックの良質化のための適正な維持管理や更新の支援

- ★環境に配慮した数世代にわたり住み継ぐことのできる住宅の普及
- ・安心してリフォームを実施するための環境整備 など

既存住宅の流通活性化のための条件整備

- ・良質な既存住宅が正當に評価されるための仕組みづくり
- ・良質な既存住宅を安心して取得できる環境整備

そなえる

災害に備え、被害を最小限に抑えるためのまちづくりを進める。

住宅・住環境の安全性の向上

- ★災害に備えた平時からの取組の推進
- ★被災想定情報等の一元的な提供・発信
- ★袋路等の細街路が存在する防災上課題のある地区等の安全性の確保 など

支え合う

誰もが安心して暮らすことのできるすまいやまちをみんなで実現する。

重層的な住宅セーフティネットの構築

- ★市営住宅の住宅セーフティネット機能の充実
- ★民間賃貸住宅等への入居の円滑化と居住支援 など

中・大規模の市営住宅団地のマネジメント

- ★コミュニティバランスに配慮した団地づくり
- ★ニュータウンにおける団地再生・ストック活用の推進 など

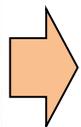
現行の京都市住宅マスタープランにおける取組状況

住み継ぐ

空き家の発生の予防，活用・流通の促進，適正な管理といった「総合的な空き家対策」の推進

- 平成25年7月 「総合的な空き家対策の取組方針」の策定
- 平成26年4月 「京都市空き家等の活用，適正管理等に関する条例」の制定
- 平成29年3月 「京都市空き家等対策計画」の策定

空き家の改修・活用事例



京町家の保全・継承の推進

- 平成29年11月 「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」の制定
- 平成31年2月 「京都市京町家保全・継承推進計画」の策定



- ・京町家の改修等に対する助成制度の創設・拡充
- ・京町家マッチング制度の整備・運用

など



現行の京都市住宅マスタープランにおける取組状況

住み継ぐ

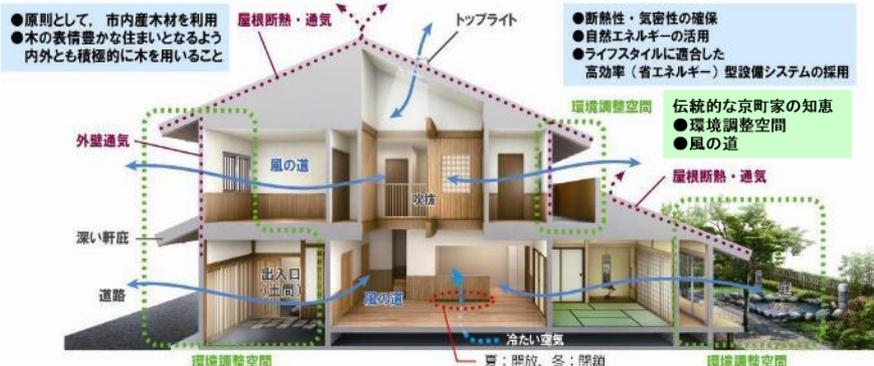
京都型環境配慮住宅「平成の京町家」の普及促進

○平成24～30年度 「平成の京町家」の認定制度の創設及び補助(計75件)

○平成22年～ 「平成の京町家コンソーシアム」の設立

⇒「京都住文化コンソーシアム」として再編

「平成の京町家」の概念



「平成の京町家」の認定を受けた住宅



住教育・住育の推進

○すまいに関する子ども・親子向けセミナー・試行授業の実施

(平成28年度～ 計4,005人)

小学校における試行授業



中学校における試行授業



親子向けセミナー (土塗壁体験)



現行の京都市住宅マスタープランにおける取組状況

住み継ぐ

分譲マンションの適切な維持管理の推進

○平成19年度～ 分譲マンション建て替え・大規模修繕アドバイザー派遣
(平成22～30年度 計86マンションに対し279回派遣)

➡ 建て替えや大規模修繕を行おうとする分譲マンションの管理組合に対し、その進め方について助言を行う専門家を派遣

○平成22年度～ 高経年マンション専門家派遣(計60マンションに対し448回派遣)

➡ 管理に支援を要する分譲マンションに対し専門家を派遣し、管理組合役員等の担い手となる区分所有者等の掘り起こしや、総会の開催、管理規約の作成など、管理組合運営の支援を実施

○平成22年度～ 分譲マンション共用部分バリアフリー改修助成(計78件)

既存住宅の省エネリフォームに対する支援

○平成26年度～ 既存住宅省エネリフォーム支援事業
(計2,875件に対し補助)

➡ 既存住宅の省エネルギー性能の向上の推進を目的として、窓の二重化や断熱材の設置、遮熱工事などのエネルギー削減が見込まれる省エネルギー化工事に対して、補助を実施



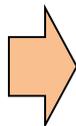
現行の京都市住宅マスタープランにおける取組状況

そなえる

住宅の安全性の確保

- まちの匠の知恵を活かした耐震リフォーム支援(平成24～30年度 計4,501件)
- 建築基準法に基づく検査済証の交付率の向上(平成30年度 99.5%)

屋根の軽量化



劣化箇所への補修



災害に備えた平時からの取組の推進 / 密集市街地・細街路対策の推進

- 防災上課題のある地区における防災まちづくり活動支援
- 避難経路や防災ひろばの確保, 新たな道路指定などによる安全性の向上

まちあるきの様子(路地の計測など)



地域住民による災害図上訓練の様子



まちなかcommons(防災ひろば)



現行の京都市住宅マスタープランにおける取組状況

支え合う

住宅確保要配慮者に対する民間賃貸住宅への入居の円滑化・居住支援

○平成24年9月 官民連携による「京都市居住支援協議会」の設立

- ・高齢者等の入居を拒まない「すこやか賃貸住宅登録制度」の創設
- ・「すこやか賃貸住宅協力店」の登録
- ・住まいと見守りをセットで提供する「高齢者すまい・生活支援事業」の実施

など

市営住宅の適切な更新・維持管理／住宅セーフティネット機能の充実

○市営住宅の団地再生事業の実施や既存住棟の耐震改修・エレベーターの設置

○高齢者や障害者等を対象とした単身者向け公募の実施

○子育て・若年層世帯に対する市営住宅の供給(子育て世帯向けリノベーション住宅)

団地再生事業



<建替前>



<建替後>

市営住宅の耐震改修



既存住棟へのエレベーター設置



支え合う

ニュータウンにおける団地再生・ストック活用の推進

<洛西ニュータウン>

- 平成18年11月 「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」の策定
- 平成29年3月 「洛西ニュータウンアクションプログラム」の策定



分野ごとにワーキンググループを設置のうえ順次実施

- ・若者・子育て世代をはじめとした各世代が住みやすいニュータウンの基盤づくり
- ・生活・福祉など居住魅力を高めるサービスの向上
- ・洛西ニュータウンの魅力充実と交流人口の呼び込み
- ・イメージ戦略も含めた仕掛けづくりと多様なメディアによるニュータウン情報発信など

<向島ニュータウン>

- 平成29年3月 「向島ニュータウンまちづくりビジョン」の策定



分野ごとにワーキンググループを設置のうえ順次実施

- ・多文化・多世代共生のまちづくりによる、新たな向島のイメージ発信
- ・魅力のある住宅・住環境づくり
- ・安心して子育てができるまちの仕組みづくり
- ・誰もが生き生きと生活できるまちの仕組みづくりなど